



肥料価格高騰対策のごあんない

～肥料価格高騰に直面する農業者の皆様を支援します～

肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の低減に取り組む農業者の皆様の肥料費を支援します。



支援の対象となる農家

令和3年度に販売実績がある農業者が対象です。
※新規就農等の理由により令和3年度に販売実績がない農業者の方は、下記お問い合わせ先におたずねください。



支援の対象となる肥料

令和4年6月から令和5年5月に購入した肥料（本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料）が対象です。

支援の内容

前年度から増加した肥料費の7割を支援金として交付します。

申請に必要なもの

① 注文票 と 請求書又は領収書

※ 本年秋肥（令和4年6月～10月に注文）、来年春肥（令和4年11月～令和5年5月に注文）の購入した肥料の種類、数量、購入費が確認できるものに限りです。

② 化学肥料低減計画書（裏面参照）

※ 2年間化学肥料低減に向けた取組に2つ以上取り組むことが必要です。
（取組例）土壌診断による施肥設計、堆肥の利用、有機質肥料の利用など

③ 支援金を振り込む通帳

※春肥分（令和4年11月～令和5年5月注文分）は別途受付会を設けます。

受付会【本年秋肥分（令和4年6月～10月に注文）】

◎ 10月11日（火） 9時～16時 会場：ほほえみ館中研修室

◎ 10月12日（水） 9時～12時 会場：ほほえみ館中研修室

※ 持参するもの

上記申請に必要なものに記載している①、③。②は受付会にて記載（事前に裏面で記載内容を御確認ください）、③は、会場にてコピーをとらせていただきます。

お問い合わせ先

高原町農畜産振興課 0984-42-5132 JAこばやし農業企画室 0984-23-1676
西諸県農林振興局農畜産課 0984-23-3166

(案)

※様式は変更となる場合がございます

化学肥料低減計画書(実施報告書)

※太線で囲われた内容を記入してください

秋用肥料 6～10月購入分
春用肥料 11～5月購入分
※どちらかに○をつけてください

作付概要

作物名	作付面積(a)
その他	
計	

作付面積が多い順に2つの作物とその面積を記載
←残りの作物の面積を記載
←全面積を記載

氏名(法人・組織名)		
住所		
電話番号	—	—
Eメール		@

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
※チェック☑した上で、署名してください。

氏名(自署)

記載方法

- 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

前年度取り組んだ内容に○をつける

前年度取組と同じ項目に○をつける場合は1つ以上◎をつける

◎をつけた取組メニューはここに取組の拡大・強化内容を記入する(別紙参照)

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組	取組の強化・拡大内容
ア 土壌診断による施肥設計			
イ 生育診断による施肥設計			
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入			
エ 堆肥の利用			
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)			
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)			
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用			
ク 緑肥作物の利用			
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用			
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用			
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)			
シ 局所施肥の利用 (例)側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等			
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用			
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)			
ソ 地域特認技術の利用 ()			